

## 2. 住民意向調査

令和2年及び3年に実施したアンケートの結果から、都市づくりに関する市民の意向を整理します。

### ■ アンケート実施概要

項目	総合計画アンケート	公共交通アンケート (住民)	環境基本計画アンケート (①住民・②中学生)
実施期間	令和3年2～3月	令和2年9～10月	令和2年1～2月
対象者	18歳以上の市民	65～89歳の市民	①18歳以上の市民 ②中学1・2年生
配布・回収方法	郵送配布・郵送回収 及びWeb回答、HP回答	郵送配布・郵送回収	①郵送配布・郵送回収 ②学校単位で配布・回収
配布数	3,000	3,500	①2,000 ②約800
回収数(回収率)	1,399 (44.1%)	2,364 (67.5%)	① 963 (48.1%) ② 743 (92.9%)

### (1) 総合計画アンケート

設問：村上市は住みやすいと思いますか。【1つだけ選択】

住みやすい・住みにくい理由は何ですか。【3つまで選択】

○約7割の市民が住みやすさを実感もその比率は5年間で若干低下。

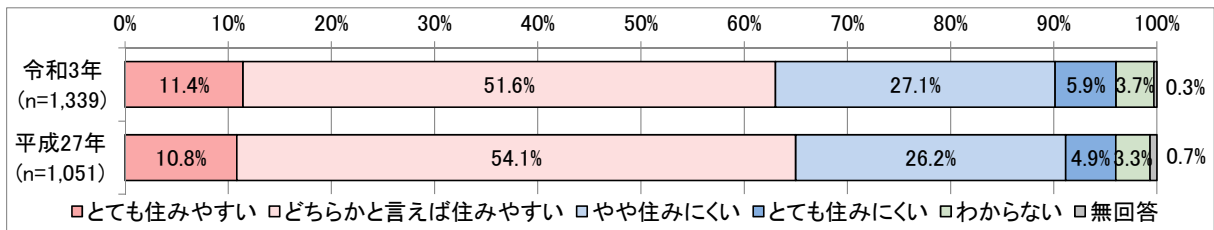


図1-2-1. 村上市の住みやすさ

○5年前と同様、住みやすい理由は良好な自然環境に関するものが多く、住みにくい理由は都市機能の不足に関するものが多い。

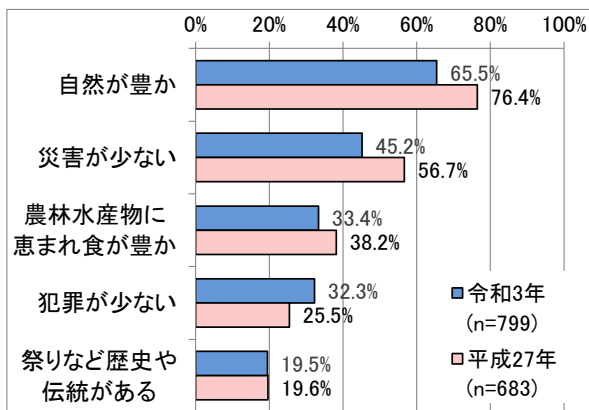


図1-2-2. 住みやすいと感じる理由  
注) 上位5項目抜粋

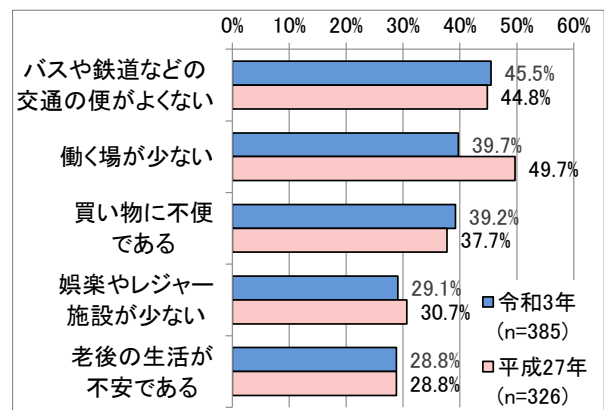


図1-2-3. 住みにくいと感じる理由  
注) 上位5項目抜粋

設問：次の項目に対して「満足度」についてあてはまるものを選んでください。

○「8 生活排水」、「12 道路整備」、「23 防災体制」の満足度は高く、「21 就労環境」、「13 公共交通」、「19 商工業（産業）」の満足度が相対的に低い。

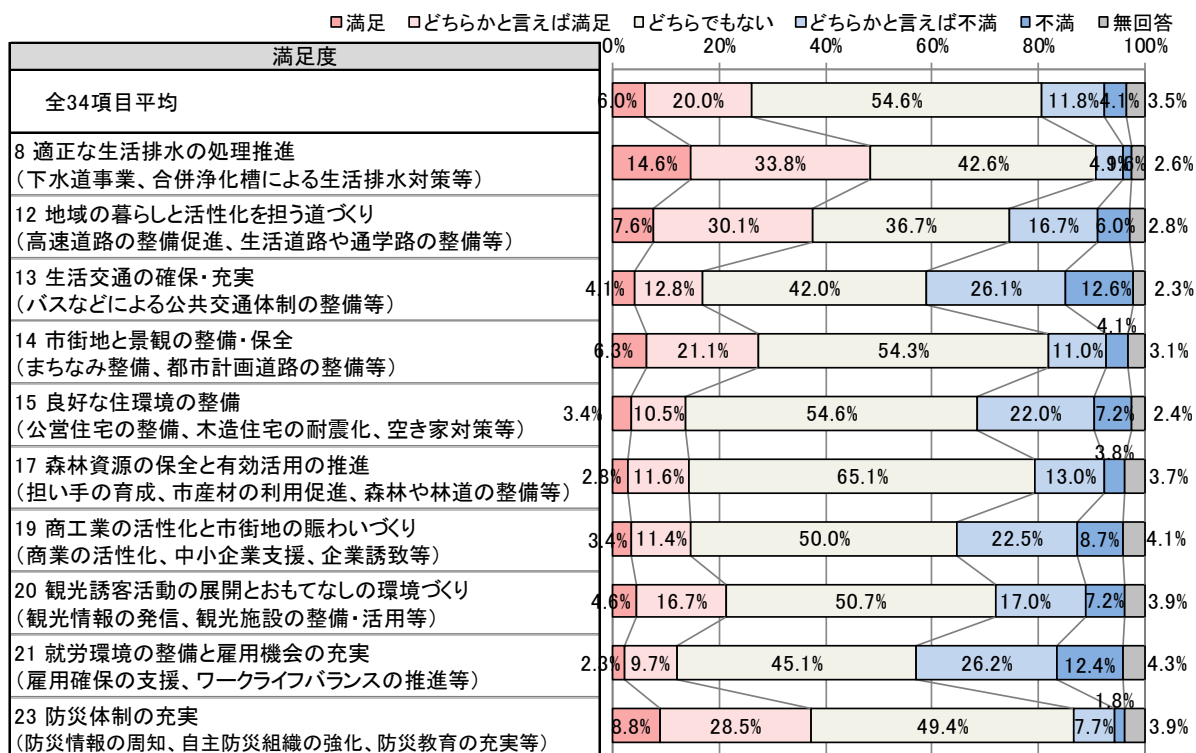


図1-2-4. 項目別重要度

## (2) 公共交通アンケート

設問：バスの利用頻度をお答えください。【1つだけ選択】

バスを利用しない理由は何ですか。【いくつでも選択可能】

○市民の9割近くが1年以上バスを利用していない。理由は「自家用車を使用する」が8割以上。

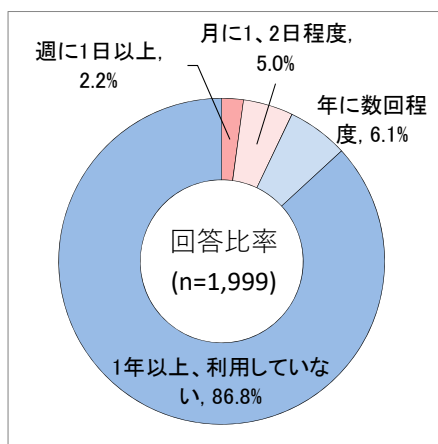


図1-2-5. バスの利用頻度

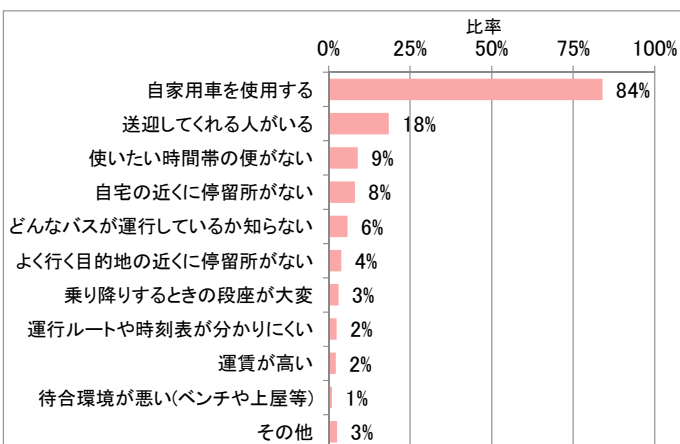


図1-2-6. バスを利用しない理由

### (3) 環境基本計画アンケート

設問：現在のあなたの身の周りの環境について、どの程度満足していますか。各項目について「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「わからない」の中から1つ選んで番号に○をつけてください（中学生は「はい」、「いいえ」の2択）。

#### 【一般市民】

回答数：平成22年度 1,533人 令和2年度 963人

- 前回と比べて「汚水処理の状況」に関する満足度は10%以上増加。
- 一方、「街並みの美しさ」に関する満足度は低下。

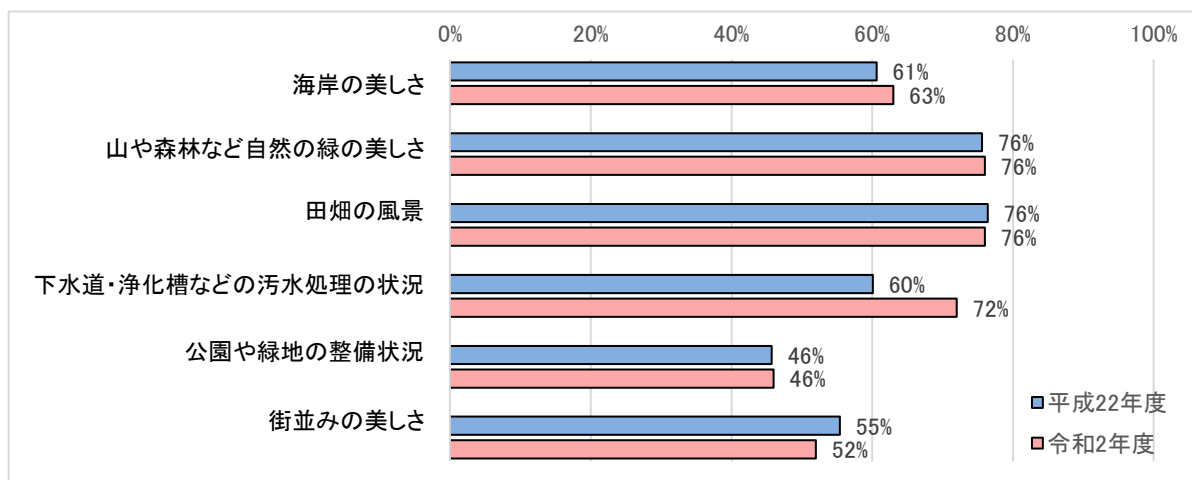


図1-2-7. 一般市民

※「満足」と「やや満足」の合計の比率（無回答は除く）

#### 【中学生】

回答数：平成22年度 1,050人 令和2年度 743人

- 中学生の自然環境や景観に関する満足度は全分野で向上。特に「海岸の美しさ」は前回の42%から今回の63%へと20%以上増加した。

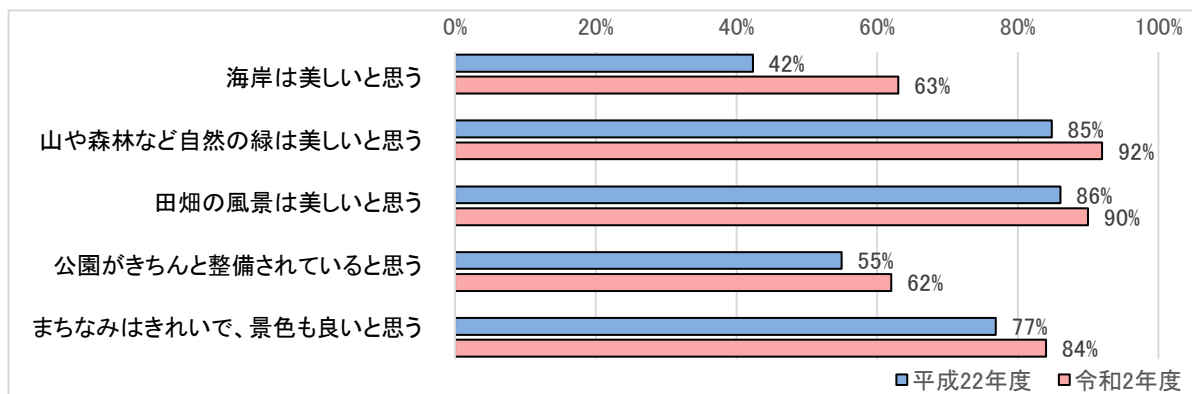


図1-2-8. 中学生

※無回答は除く